

2025年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年9月12日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名
コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年10月期第3四半期の連結業績(2024年11月1日～2025年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期第3四半期	1,927	△0.2	38	△31.3	36	△33.4	21	△30.5
2024年10月期第3四半期	1,931	2.4	56	39.1	54	44.6	30	52.2

(注) 包括利益 2025年10月期 21百万円(△30.2%) 2024年10月期 30百万円(52.0%)
第3四半期 第3四半期

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第3四半期	17.98	—
2024年10月期第3四半期	25.88	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期第3四半期	1,409	543	38.5
2024年10月期	1,353	521	38.5

(参考) 自己資本 2025年10月期第3四半期 543百万円 2024年10月期 521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年10月期	—	0.00	—		
2025年10月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年10月期の連結業績予想(2024年11月1日～2025年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,600	3.3	19	△50.0	15	△58.8	1	△88.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) A G ランドスケープ株式会社 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年10月期 3 Q	1, 171, 600株	2024年10月期	1, 171, 600株
② 期末自己株式数	2025年10月期 3 Q	291株	2024年10月期	242株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年10月期 3 Q	1, 171, 354株	2024年10月期 3 Q	1, 171, 358株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結範囲または持分法の適用範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業の設備投資の増加や、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で米国の関税政策による世界経済の減速懸念や国際金融市場の動向、資源価格の高止まりによる物価上昇の継続等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2025年5月から7月までの、らん鉢取扱金額は932百万円（前年同期比0.6%減）、ファレノプシス類（胡蝶蘭鉢）の取扱金額は895百万円（前年同期比0.1%増）と、いずれも前年同期比横ばい傾向で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客への販売促進とオフィス緑化の提案に注力いたしました。ナーセリー支援事業におきましては、新規顧客開拓に注力いたしました。フューネラル事業は、既存顧客に対する販売促進に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,927,739千円（前年同期比0.2%減）、営業利益38,600千円（前年同期比31.3%減）、経常利益36,628千円（前年同期比33.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益21,064千円（前年同期比30.5%減）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

（フラワービジネス支援事業）

フラワービジネス支援事業につきましては、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客への販売促進とオフィス緑化の提案に注力いたしました。各企業の職場環境の改善・快適化に向けた取り組みへの意識の高まりから、新店舗開設や事務所移転、レイアウト変更等の際、オフィス内に多くの緑を取り入れた空間づくりのご相談や提案依頼も増加いたしました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は1,317,413千円（前年同期比1.0%増）となりました。

（ナーセリー支援事業）

ナーセリー支援事業につきましては、新規顧客開拓に注力いたしました。また、当社オリジナル園芸資材の原材料やエネルギー価格の高騰等による生産コストの上昇が続く中、胡蝶蘭苗及び各種園芸資材の原価低減に向けて、仕入れ先の選定や原材料の見直し、既存顧客への販売単価の値上げ交渉等も慎重に進めました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は409,066千円（前年同期比3.7%減）となりました。

（フューネラル事業）

フューネラル事業につきましては、既存顧客への販売促進に注力いたしました。

葬儀業界全体の環境としましては、引き続き大都市圏を中心に家族葬や密葬、葬儀の小型化による葬祭規模の縮小化が増加しており、全国的に葬儀規模は縮小傾向で進んでいくと考えられます。また、高齢化社会を背景に、今後も葬儀件数は増加するものと推計されております。

このような環境下、当社は既存顧客をはじめ、葬儀業界関係各社との様々なコミュニティやネットワークを通じて、顧客が求める商品の提案やサービスの提供をスピーディーに図ることで、信頼関係の強化に努めました。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は201,259千円（前年同期比0.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,409,139千円となり、前連結会計年度末と比べ55,637千円増加しました。

流動資産は1,186,320千円となり、前連結会計年度末と比べ18,262千円増加しました。その主な要因は、現金及び預金が9,127千円、仕掛品が11,760千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は222,819千円となり、前連結会計年度末と比べ37,374千円増加しました。その主な要因は、有形固定資産に含まれております土地が18,000千円、のれん8,803千円、無形固定資産のその他に含まれておりますソフトウェアが23,388千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は866,062千円となり、前連結会計年度末と比べ34,258千円増加しました。

流動負債は445,181千円となり、前連結会計年度末と比べ35,350千円減少しました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が10,337円増加した一方で、買掛金が10,551千円、未払法人税等が18,530千円、賞与引当金が13,372千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は420,880千円となり、前連結会計年度末に比べ69,609千円増加しました。その主な要因は、長期借入金が59,426千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は543,077千円となり、前連結会計年度末と比べ21,378千円増加しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益21,064千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の業績予想につきましては、2025年6月12日に公表いたしました通期の連結業績予想から、修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	692,065	701,193
受取手形及び売掛金	308,625	304,572
商品及び製品	35,794	27,197
仕掛品	110,252	122,013
原材料及び貯蔵品	307	1,331
その他	26,434	36,840
貸倒引当金	△5,421	△6,827
流動資産合計	1,168,058	1,186,320
固定資産		
有形固定資産	15,641	35,323
無形固定資産		
のれん	13,096	21,899
その他	34,819	47,765
無形固定資産合計	47,915	69,665
投資その他の資産		
その他	145,407	141,350
貸倒引当金	△23,519	△23,519
投資その他の資産合計	121,887	117,830
固定資産合計	185,444	222,819
資産合計	1,353,502	1,409,139
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,245	98,693
1年内返済予定の長期借入金	227,093	237,430
未払法人税等	22,255	3,724
賞与引当金	23,757	10,384
株主優待引当金	4,026	—
その他	94,153	94,947
流動負債合計	480,531	445,181
固定負債		
長期借入金	345,029	404,455
その他	6,242	16,425
固定負債合計	351,271	420,880
負債合計	831,803	866,062

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,012	143,012
資本剰余金	94,997	94,997
利益剰余金	282,411	303,475
自己株式	△465	△561
株主資本合計	519,956	540,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,742	2,152
その他の包括利益累計額合計	1,742	2,152
純資産合計	521,698	543,077
負債純資産合計	1,353,502	1,409,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
売上高	1,931,990	1,927,739
売上原価	1,102,244	1,122,131
売上総利益	829,745	805,608
販売費及び一般管理費	773,549	767,008
営業利益	56,195	38,600
営業外収益		
受取利息	169	763
受取配当金	58	88
受取補償金	—	2,117
為替差益	822	—
その他	1,175	647
営業外収益合計	2,227	3,617
営業外費用		
支払利息	3,460	4,347
為替差損	—	442
その他	0	800
営業外費用合計	3,461	5,589
経常利益	54,961	36,628
特別損失		
固定資産除却損	491	—
固定資産売却損	423	—
特別損失合計	915	—
税金等調整前四半期純利益	54,046	36,628
法人税、住民税及び事業税	19,740	13,440
法人税等調整額	3,988	2,123
法人税等合計	23,729	15,564
四半期純利益	30,316	21,064
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,316	21,064

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
四半期純利益	30,316	21,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	433	410
その他の包括利益合計	433	410
四半期包括利益	30,749	21,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,749	21,474
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲または持分法の適用範囲の変更)

(連結の範囲の変更)

第3四半期連結会計期間において、AGランドスケープ株式会社の全株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
減価償却費	11,495千円	12,148千円
のれんの償却額	2,311千円	2,311千円

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2025年5月23日開催の取締役会決議に基づき、同日付で株式譲渡契約を締結し、株式会社アートグリーン溝口造園の株式を取得し、子会社化いたしました。

※同社は2025年5月23日付にて株式会社アートグリーン溝口造園よりAGランドスケープ株式会社へ商号変更しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称

株式会社アートグリーン溝口造園

事業の内容

造園事業および屋内外緑化事業

② 企業結合を行った主な理由

当社グループは、BtoBのフラワービジネスに特化した事業を展開し、特に胡蝶蘭を中心とした洋蘭においては、種苗生産から販売、流通に至るまでさまざまなサービスを提供しております。

株式会社アートグリーン溝口造園は、一級造園技能士や一級造園施工管理士などの資格を持ち神奈川県を中心に造園事業を展開し、神奈川県造園業協会の青年優秀技能者表彰や全国都市緑化よこはまフェアで庭園出店コンテストで銀賞を受賞するなど、造園、庭園管理では一定の評価を得ております。

当社グループは、次の成長戦略の一環として、造園事業および屋外緑化や屋内緑化を事業構築するため、株式会社アートグリーン溝口造園を完全子会社とすることといたしました。

③ 企業結合日

2025年5月23日（株式取得日）

2025年6月30日（みなし取得日）

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

AGランドスケープ株式会社

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績期間

当第3四半期連結会計期間においては2025年6月30日がみなし取得日であることから貸借対照表のみ連結しているため、当第3四半期連結損益計算書に被取得企業の業績を含んでおりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 20,745千円

取得原価 20,745千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 300千円

(5) 発生したのれん金額、発生原因

・発生したのれんの金額 11,114千円

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

・発生原因 今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

・償却方法及び償却期間 5年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額

流動資産	7,559 千円
固定資産	23,836 千円
資産合計	31,395 千円
流動負債	1,983 千円
固定負債	19,781 千円
負債合計	21,764 千円